



東京YMCA

2009 4 月号

発行所 東京キリスト教青年会 発行人 廣田光司
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

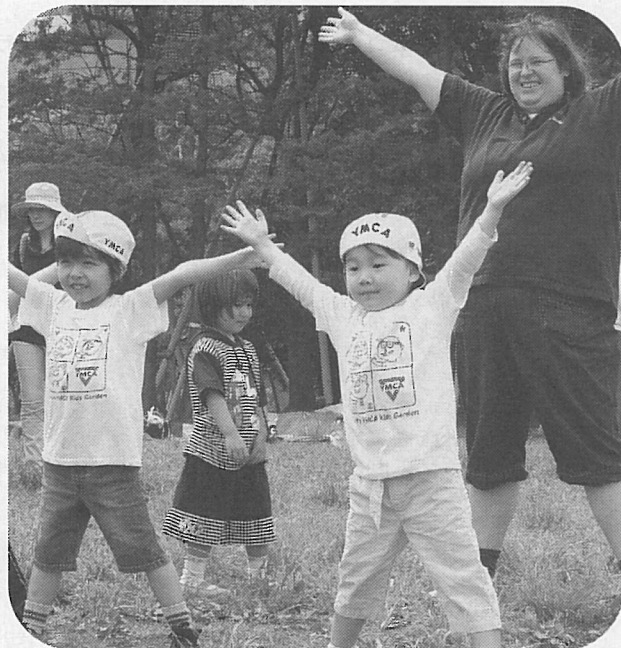


新理事長に徳久俊彦氏

学校法人東京YMCA学院

学校法人東京YMCA学院は、加美山節理事長の退任に伴い、3月27日の理事会で、徳久俊彦理事を新理事長に選任しました。

徳久新理事長は4月1日より就任。



We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

＝公 示＝

第7回会員大会

日 時：2009年5月23日 (土)

13:30～17:30

場 所：東京YMCA

東陽町センター

■お問合せ：会員部

TEL 03-3615-5568

青少年の成長にかかわり 祈りと情熱を結集しよう



本会名誉会員 坂口順治

今年には内外ともに歴史的な転換期である。世界は金融経済の破綻によって信用を無くしてしまった。市場万能、競争至上の新自由主義経済の破綻だけではない。人間の信頼関係、人間性の尊厳までもが侵されてしまった。そして地域社会や自然環境はもとより、人間の生き方を根底から問い直しつつある。YMCAの活動にも影響を与えた。組織運営上の苦しみをお互いに分かち合いながら、反省しながら初心に帰って、今はピンチをチャンスに変える絶好の機会にとらえている。

YMCA運動の原点はかの産業革命によって生じた社会の歪みにあった。混乱の中に生きる青少年の福祉と教育の道を創造して、成長にかかわりたいという同志の熱い祈りを結集して世界大に広がったボランティア運動である。その初心に立ち返って再吟味したい。

YMCA運動は青少年の成長にかかわる活動に集中化し焦点化したい。YMCAは伝統的に青少年活動の分野では先駆者であった。キャンプ、野外活動、スポーツ、スキー、

山小屋合宿など、五感に触れ合うグループ方法が得意であった。それが現象的なプログラムに流れて、他の類似団体と大同小異になった。だから、今こそ原点に戻って何故YMCAが人間の成長にかかわる教育と福祉の活動を志向してきたかを再考して、新しい活動を創出したい。

「若いうちに、汝の造り主をおぼえよ」という言葉のように、幼児から青年に至る人格の成長期にかかわる活動こそがYMCAの本来の姿である。自我の形成プロセスにかかわる全人的プログラムを社会に展開していきたい。そのためには同志が再度結集して祈り、語り合って新しいプログラムを創造したい。シニアになった団塊世代は、青少年を支援する活動を、時代にマッチしたプログラムに改革して実践しよう。それは熱い祈りの中から必然的に生まれて来る。祈りは創造を生み、希望の根拠になり、明日への力強いエネルギーの源泉になる。

ヘブライの詩人は「あなたの天を、あなたの指の業をわたしは仰ぎます。そのあなたが御心に留めてくださるとは、人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは(詩篇第8篇)」と詠う。今、数名の同志が集まって新しい革袋を作っている。

YMCAに集う同志のみなさん、それぞれに青年の夢を実現する情熱と祈りをもって語り合い、原点に立ちかえって進もうではありませんか。(イザヤ書30章15節)

すべての人を一つにしてください

復活への希望を持って

◇『風は見ていた、涙と血に濡れたその御顔を、痛む姿に陽さても、雲の中に隠れる。泣いているのは、少しの人と通り行く風、その光景のすべてを、見ておられた天の父。あの日は十字架の上で罪のない両手を広げて、憎しみ怒りと高ぶりに満ちた者の手により、釘打たれた、その罪人の名は、それは私の名前』

◇これは、東京基督教大学の学生により16年前に編成された、リラ(L

が、CDアルバムを出し続けています。

◇4月12日はイースター(復活祭)です。キリスト教ではクリスマス同

時のローマ帝国(ヒラント)とされていますが、実は十字架を背負って生きています。復活の希望を持って新年度をスタートしましょう。

◇このことは、現代の(総主事 廣田光司)

赤三角

今年、東京一フレストバレーYMCAパートナシップが30周年を迎え、東京とフレストバレーでお祝いの会を計画している。▼先日、長年に渡りYMCAに尽くされたその働きを自叙伝としてまとめた、本間立夫氏(元本会主事)の『当たって砕けよ! 日米のYMCAに懸けた半世紀』の出版記念会があった。その席上、この本を読んだ会員の方から、YMCAは箱物ではなく、プログラムであることを再確認された。とのスピーチがあった。神田の会館を失った寂しさを感じていたが、運動体としてのYMCAであつたことを確認し、力強く聞いた。▼「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」(コリントの信徒への手紙2・第4章18節)と聖書にあるが、私たちが奮い立たせ、明日へ向かって進み続ける力は、見える物に頼ることではなく、YMCA創立時から大事にしてきた、一人ひとりの心である。否定の多い最近の世の中に流されることなく、共に個性を認め合い、持てるタレントを生かし、支援し合う会員同志となりたい。▼山田公平日本YMCA同盟総主事が、次期アジア・太平洋YMCA同盟総主事として活躍されるが、我々も世界のYMCAと協働して、YMCA運動をさらに推進させて行きたいと願っている。

(国際委員長 笈川光郎)